

医療発祥の地から POCUS ―外来チョイあてエコーを極める
第 15 回日本ポイントオブケア超音波学会学術集会

2011 年の『New England Journal of Medicine』の「Point-of-Care Ultrasonography」のレビュー以降、世界中で“POCUS”（ポイントオブケア超音波）に注目が集まっています。日本でも 2016 年に Point-of-Care 超音波研究会が立ち上がり、2022 年には学会となりました。今回の学術集会では、多くの超音波エキスパートの先生方に集まっていただき、道具としてのエコーを使いこなすノウハウを学びます。学生や研修医などの若手医療者がエコーを楽しみながら学べるセッションや、初学者が全身の POCUS を一流講師から学べる 1day セミナー、そして 6 種の POCUS ハンズオンも用意いたします。

学会テーマは「医療発祥の地から POCUS」として、初日ランチョンセミナーでは出雲の語り部・藤岡大拙先生（荒神谷博物館館長、NPO 法人出雲学研究所理事長）に、おおくにぬしのみこと 大国 主 命と因幡の白兔から始まる古代からの医療の歴史について語っていただきます。2 日目は、POCUS を例に大衆化するテクノロジーと日本の未来について、小林只先生（弘前大学医学部附属病院総合診療部）にお話しいただきます。太古の医療に思いを馳せ、未来を考えながら、“外来チョイあてエコー”を極める 2 日間にしたいと思います。

日時：2023 年 7 月 15 日（土）～16（日）

開催形式：対面＋オンデマンド配信 ※ライブ配信なし（ハイブリッド開催ではありません）

場所：島根大学医学部（出雲市塩冶町）

大会長：白石吉彦（隠岐広域連合立隠岐島前病院、島根大学医学部付属病院総合診療医センター）

プログラム：

- ・1 日目；運動器エコー クロストーク、シミュレーター（超音波ファントムで学ぶ POCUS）、運動器（総合診療医が整形外科医にエコー下穿刺を習って免許皆伝！）、補助金・コスト（POCUS にまつわるお金のあれこれ）、学生・研修医教育、学生セッション、看護師セッション、他
- ・2 日目；ポケットエコーを含む在宅医療、若者たちの外来超音波診療、日本版 POCUS の指針を読み解く、他。初学者のための 1day セミナー（8：55～15：30）
- ・ハンズオン（各 3 時間）；①心不全（FoCUS＋肺エコー）、②小児腹痛 PUSH、③消化管（胃・十二指腸、大腸、回盲部・虫垂）、④看護（聴診＋肺、症状＋膀胱＋IVC、末梢路確保）、⑤頸部（頭頸部外科、麻酔科、小児科、頸動脈）、⑥運動器（プローブ操作＋針操作、五十肩、膝痛、腰痛）

一般演題申込み期限：2023 年 5 月 31 日（水）

奨学ポケットエコーアイデアコンペ申込み期間：2023 年 5 月 1 日（月）～31 日（水）

参加費・年会費：

	医師	研修医・コメディカル	学生
参加費	16,000 円（非会員） 8,000 円（会員）	11,000 円（非会員） 5,000 円（会員）	2,000 円
ハンズオン （申込開始 5/1～）	各々 5,000 円	各々 5,000 円	各々 5,000 円
1day セミナー	5,000 円	5,000 円	無料
年会費	5,000 円	3,000 円	無料



事務局：しまね総合診療医センター

✉ jpocus15@gmail.com

※詳細は下記ホームページをご参照ください。

<https://shimanegp.com/jpocus15/>